

市国際交流協会

会員を募集します



匝瑳市国際交流協会は、匝瑳市および周辺地域の住民と世界各国の人々との交流活動がより円滑に進められるよう支援し、国際的な相互理解と国際親善を深めることを目的に活動しています。

協会では日本語教室、パーペキユーパーティー、よかつぱ祭りへの出店、新春パーティーなど、さまざまな活動を行っています。会員には、協会主催の各種イベント情報を

県主催の講演会、相談会を開催します。皆さんの参加をお待ちしています。

日時：10月19日(日) 13時～17時
場所：未定(匝瑳市内で調整中)
内容：耐震改修等の講演会(定員30名) 個別耐震相談会(定員10組、相談時間1組約30分、要予約)
対象：市内に在住している人で、新耐震基準(昭和56年)以前に建築された木造住宅を

お知らせします。

国際交流に関心のある人は、ぜひご入会ください。

年会費

個人会員：2千円(学生は千円)

家族会員：3千円

法人・団体会員：1万円

申し込み・問い合わせ

〒289・2198

匝瑳市八日市場八793番地

2 匝瑳市国際交流協会事務局

(市役所企画課企画調整班)

☎73・0081

皆さんのお宅は大丈夫ですか？

わが家の耐震相談会



所有、または居住している人
当日は自宅写真、図面(建築確認関係書類等)、その他建築物の状況が把握できるものを持参ください。

受付時間：8時30分～17時

(土・日・祝日を除く)

申込期限：10月10日(金)

参加費：無料

申し込み・問い合わせ：都市

整備課管理班 ☎73・0091

候補者・樹木を募集

植木伝統樹芸士と

植木銘木100選

千葉県では、県の伝統的な植木造形技術と知識に優れた人を「植木伝統樹芸士」に、また、そのような技術で造形され、かつ、県内に植栽されている一定の基準を満たした植木を「植木銘木100選」に認定しています。

そこで、これらの候補者、候補樹木を9月1日(月)まで募集します。なお、認定にあたっては書類審査と現地審査があります。要件や申請の方法などの詳細は、左記へお問い合わせください。

問産業振興課農政班

☎73・0089

匝瑳の秋を彩る

第13回飯高檀林コンサート情報

日時：10月12日(日) 13時30分～(予定) **場所**：飯高寺(飯高檀林跡) **出演者**：「大川信一郎と仲間たち」 **内容**：管楽器を中心とするアンサンブル

問生涯学習室 ☎67・1266



図書館だより

休館日... 8 / 5 (火) ・ 毎週月曜日

日曜日の開館時間... 9時～17時

図書館たんけん参加者募集

図書館の仕事に興味のある子どもたちに、職員が普段は見られない図書館の裏側をご案内します。また、図書館員体験もできます。

日時... 8 / 6 (水) ・ 7 (木) ・ 8 (金) 14時～16時

対象... 小学3年生～6年生 **募集人員**... 各日先着10名

職業体験の受け入れをしています。

市内の中学2年生が職業体験(社会体験)をしますので、利用者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

- ・八日市場第一中学校 8 / 6 (水) ～ 8 (金)
- ・八日市場第二中学校 8 / 22 (金) ・ 27 (水) ・ 28 (木)

ホームページから所蔵資料の検索ができます。

アドレス <http://www.library.sosa.chiba.jp>

問八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

文芸コーナー

短歌

土屋耕一 推薦

瓶に挿せる菘なすえんどうの花散りて形なしたる
豆まめ育ちゆく 太田 玲子
緑濃き森の奥なる浅間神社の朱の鳥居見ゆひ
ときは映えて 南波 鹿子
藤浪のかすかに揺れてほのかなる香りにひた
りカメラに向ふ 土屋 静枝
戦中に戦死はあれど今の世に殺人多しあまり
に多き 中島 静代
誕生日孫より届く宅急便わが好物の蟹かにぞうれ
しき 佐藤 直枝
子の数を問はれ答ふる三人に亡きみどり児を
含め言ひ添ふ 大木ヨシ子
孫まご子らの手厚き介護を謝しながらベッドにふ
せる老いたる姉は 中川いね子
終戦日南の海に思ひ馳す面影はいつも十九の
ままに 佐藤 泰子

医光院の伝承

曾我兄弟の墓

匠探訪

(29)



医光院境内にある「曾我兄弟の墓」

匠瑳地区山桑の医光院境内に「曾我兄弟の墓」があり、1193年に曾我五郎・十郎兄弟が父のかたきを討つた事件は、のちに「日本3大仇討ち」の一つとして歌舞伎などで取り上げられ広く知られました。医光院の墓の由来は、次のように伝承しています。源義朝の家臣に鬼王（おに）と名乗る者があり、山

桑村に来て2人の子を産んだ。その子はのちに曾我兄弟の家臣となり、兄弟の死後、兄弟の「守り本尊」を持ち帰りまつたのが医光院の観音だといふ。

曾我兄弟の仇討ちに関する物語は「曾我物」として、1700年ごろには江戸で歌舞伎の初春興行として多くの作品が演じられたといひます。その中で登場人物「鬼王新左衛門や団三郎」大磯の虎」などが山桑の曾我兄弟に関する伝承にも出てくることから、それらをもとに生まれたのでしう。

今は存在しませんが、1780年ごろにこの地域の言い伝えを書いた記録の中に「生尾（およう）という村名と鬼王とを結びつけて、生尾を鬼王が生まれた所とし、少しはなれた山桑村に曾我兄弟の墓と団三郎の墓がある」とありました。江戸で歌舞伎や芝居で取り上げられた「曾我物」がこの地域にまで広まったこと、すでに墓石があるこ

となど、曾我兄弟の墓のなぞを解くヒントがありそうです。

「曾我兄弟の墓」は全国にあり、その数は十数か所に及ぶとされます。曾我兄弟の死は900年も前のことで、江戸時代中期ごろから「曾我物」が広まったことで、ゆかりの地に墓がまつられたのでしう。

山桑の墓がさらに知られるきっかけは、明治末の千葉県での「名勝旧蹟保存事業」にあつたようです。「千葉県文書館」の刊行物によると、1911年（明治44年）10月に匠瑳郡が県に曾我兄弟の墓の周囲に木の柵を作ることを申請し、約1000円の補助を得て大正3年秋に完成しました。同10年刊行の『匠瑳郡誌』にも載せられました。

昭和6年12月には、医光院の観音像を「曾我観音」とし33年ぶりに本開帳し記念塔を建てました。境内に江戸時代の供養塔が見られないので、この遺跡保存事業が大きな成果をもたらし、33年ごとの本尊開帳は昭和38年、平成元年と続き、今後の保存につながるでしう。

問八日市場図書館 ☎73・3746



力作募集中

あて先...匠瑳市秘書課広報聴班
〒289 - 2198 匠瑳市八日市場八793番地2
☎73 - 0080、F A X 72 - 1114

川口城司推薦
畑沿ひに咲く花菖蒲紫のひときはに濃くつゆを含めり
大木 政子

潮引きしあとの砂地の新しき穴の中より出でし蟹はふ
押本富美子

義弟の遺愛のカルミヤ紅に咲き臥すその妻を励ます如し
小川 知至

年齢近く半生交はり来し友の葬りに夫は肩落とし行く
石田 秀子

汗の掌にまだ確かなる鍬捌き
依知川きよ

鍬の柄に歳月の汗黒光り
岩井 やす

地を這うてつかむ倅汗の玉
伊藤 友子

トンネルの数指折りぬ栗の花
吉野 ヨシ

朝涼の庭に下りたる母の音
大川 宣子

山寺の深廂より夏燕
中川まさ子

朝顔の空気ゆらさず開きけり
菅谷たけし

川に沿ひ醤油匂へり夏つばめ
八木佐久司

白蓮の時ゆるやかに過ぎにけり
川口城司推薦

梅雨に病み思かな過信消えゆけり
山口 静堂

じゃがいもの育つか根元の土割るる
伊藤 定子

悪腫瘍取つて快調趣味の旅
高野 操

暑さなど気にせず食べる元気な児
高梨果宝推薦

スピード社の水着で競うオリンピック
石毛惣一郎

選手より水着が競つ北京五輪
江波戸清江

愛国心オリンピックに向けて燃え
関川 幸子

温暖化地球の寿命暗示する
椎名 昭雄

氾濫の不良債権風に散り
大橋 澄子

洞爺湖で病んだ地球に処方箋
吉成かえで

懐かしい心やすらぐ友の声
鈴木十世志

川口城司推薦
加瀬きよ子

川口城司推薦
岡部 泉舟

川口城司推薦
加瀬きよ子